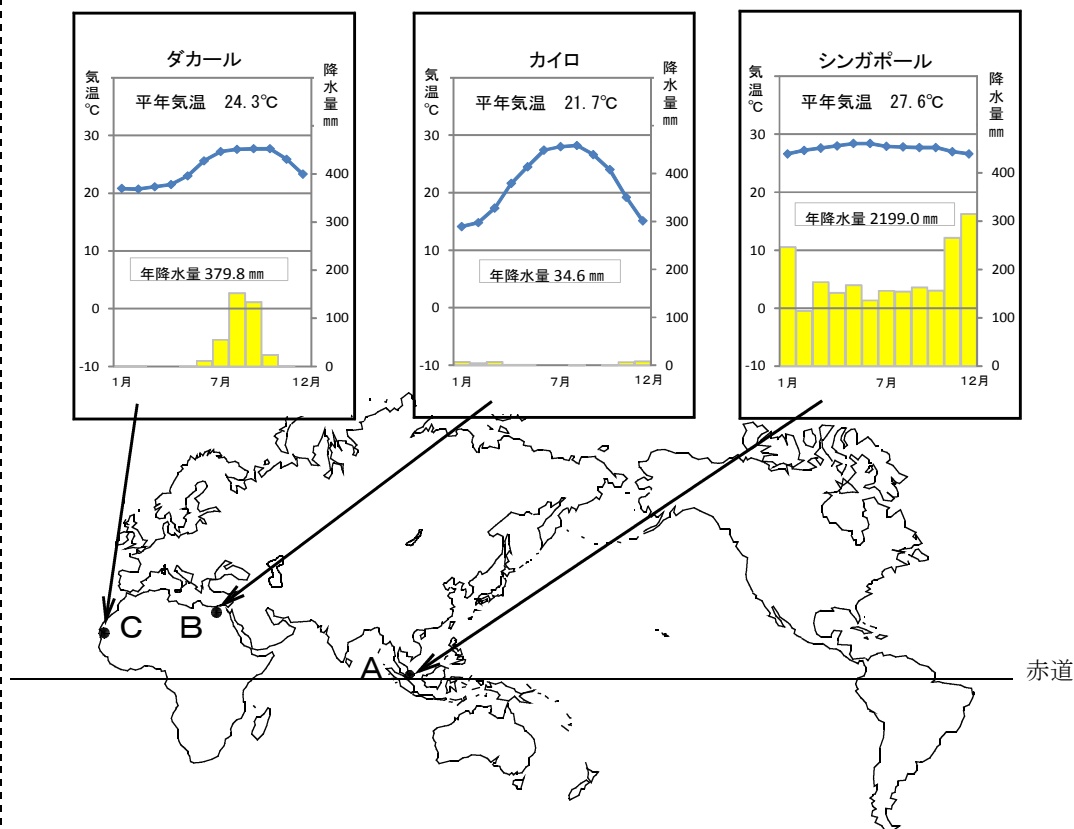


第二問 世界の人々は、水と関わりながらそれぞれの環境の中で暮らしています。資料1は、A～Cの3つの都市の気温と降水量を表しています。資料2は、アフリカのセネガルという国の水問題についてのものです。資料をもとにして、あとの1～3の問いに答えなさい。

資料1 3つの都市の気温と降水量



(グラフは、「理科年表平成 25 年」より作成)

資料2 水を運ぶ女性 (セネガル)

セネガルでは、安全な水を確保することが難しい状況にある。給水施設を持たない村落では、女性や子どもが遠く離れた井戸まで、1日に何度も往復して水くみに行かなければならない。そのため女性の家事労働の負担は重く、学校に通うことができない子どもたちもいる。また、水が確保できる地域でも、衛生的に問題のある井戸やたまり水を安易に利用して健康を害している人々もいる。

水を運ぶ女性 (セネガル) の写真

1 資料1のAとBの都市は気候に大きな違いがあります。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) Aの都市の気候の特色を、気温と降水量のグラフを参考にして答えなさい。

(2) Bの都市は、気温と降水量のグラフから年間降水量が極端に少ない地域であることがわかります。しかし、この地域では古くから文明が発展しました。この地域に早くから人が定住することができた理由を簡潔に述べなさい。

2 資料1のCの都市はセネガルの首都です。気温と降水量のグラフから植物が生育できる環境にあることがわかります。しかし、近年、この国ではさばく化の進行が問題になっています。その原因の1つとして総人口が過去50年間で約4倍に膨れあがっていることがあげられます。人口増加がもたらすさばく化の具体的な原因として考えられることを2つあげ、80字以内で説明しなさい。

3 国際社会では「人間の安全保障」が提唱されています。これは「人間一人ひとりに着目し、その生命や人権を大切にする」考え方です。資料2を読んで、セネガルでの「人間の安全保障」の実現について、次の①～③のすべてにふれて、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

- ① この国の「人間の安全保障」のうえでの問題
- ② この問題の解決のために日本ができる国際協力
- ③ 日本の協力によって得られる成果